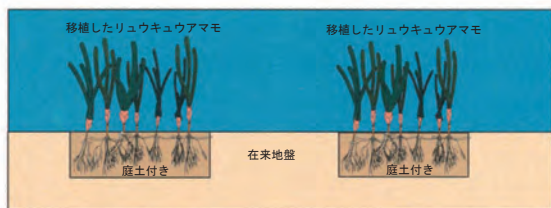


# 機械化施工による 熱帯性海草藻場造成への取り組み

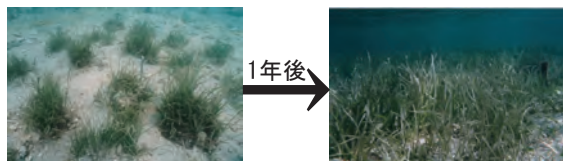
## ■ 熱帯性海草藻場とは

沖縄での亜熱帯の海は、エメラルドグリーン色に輝き、色彩豊かな広大なサンゴ礁に囲まれたラグーンには緑のジュウタンを敷き詰めたよう海草藻場が形成されており、沖縄の人々は昔から藻場の恩恵を享受しながら暮らしてきました。

これらの藻場は、海生生物の産卵場、保育・生育場、餌場を提供するとともに、砂地地盤の安定化、水質浄化の機能も保有しています。この水域ではスクガラス漁やモズク養殖も盛んに行われています。



熱帯性海草の芝植え手法



芝植え手法で造成した熱帯性海草藻場

## ■ 機械化施工技術の研究開発

大規模な熱帯性海草藻場を造成させるための『芝植え手法』には、機械化による施工技術の開発が不可欠でした。

本研究開発は、沖縄総合事務局からの要請を受けて、地元の極東建設(株)と共同開発したものです。台船に搭載したバックホウと海草回収ボックスを組み合わせ海草の採取・移動・移植を短期間に行えるシステムで、効率が良く、施工能力の高いことが特徴です。本年度、このシステムによる施工試験を中城港湾で初めて実施した結果、想定どおりの施工能力が発揮できました。

しかしながら、水深の浅い水域での台船の移動、バックホウ操縦オペレータの養成、施工計画・管理等、まだまだクリアしなければならない課題もあります。

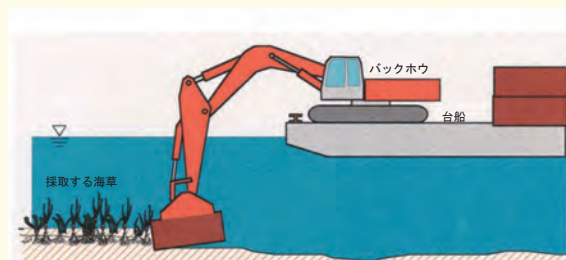
本研究開発は、開発に伴う環境保全事業に寄与し、積極的な環境回復・創造事業を誘発するものであり、これらの成果が沖縄県の発展に貢献できれば幸いです。



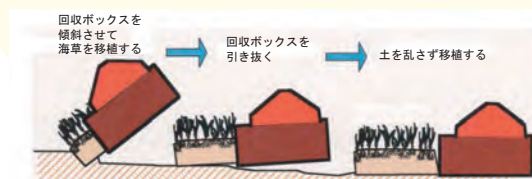
熱帯性海草藻場の生育場所と機能・役割について

## ■ 藻場造成の取り組みについて

沖縄県は、アジア地域の経済発展に寄与すべく物流・産業・生活基盤等の整備を今後一層進めていくこととしています。港湾整備や埋立事業によって海草藻場が消滅する場合には、持続可能な社会発展の観点から自然環境の保全、生物多様性・生態系の確保が重要であり、ミチゲーションとして代替藻場の造成も必要となってきたのです。当社では、平成6年度からこれらの海草に関する生理・生態、生活史に関する研究と移植試験を継続的に行い、ようやく『芝植え手法』による藻場造成技術を確立させました。



バックホウと回収ボックスによる機械化施工技術



回収ボックスによる海草移植手順